

# 「子どもたちの未来のための募金活動」に早くも成果



右からジット・石坂正人社長、ヤマダ電機・山田昇社長、JANIC・富野岳事務局長、交通遺児育成基金・高島専務理事、ヤマダ電機・栗原正明法人事業本部長

## 第1回贈呈式で315万円を支援団体に寄付

ヤマダ電機とジットは、1月29日に「子どもたちの未来のための募金活動」第1回募金贈呈式を開催し、特定非営利法人国際協力NGOセンター（JANIC）と財団法人交通遺児育成基金へ、寄付金総額315万1500円を贈呈した。

この活動は昨年11月21日からスタート。ヤマダ電機グループと協力会社79法人（07年12月29日現在）に設置した回収ボックスで、ユーザーから回収したインクジェットプリンター使用済みインクカートリッジ1個につき10円を両団体に寄付するもの。

贈呈式にはヤマダ電機・山田昇社長とジット・石坂正人社長が揃って出席。08年1月20日までの2カ月間に回収した31万5150個分に対する315万

1500円を、JANICが運営する「保健医療支援まとめて募金」と「環境保全まとめて募金（1）及び「交通遺児育成基金（2）」へ3等分し、105万500円ずつ贈呈した。

式に先だって挨拶した山田社長は「CSR活動の一環として大変有意義な



JANIC・富野事務局長へ贈呈

こと。未来を担う子どもたちを少しでも支援できるよう、さらに回収活動を強化していきたい」と述べた。今後は3カ月ごとに回収したインクカートリッジを集計し、その都度2団体へ寄付。初年度は300万個を回収し、3000万円の寄付を目標として活動していく計画だ。その詳細についてはヤマダ電機ホームページやシャニムなどで随時報告していく。

「子どもたちの未来のための募金活動」の趣旨は、第一義的には「恵まれない子どもたちへの支援」である。それと同時に、回収したインクカートリッジをジットが再生し、ヤマダ電機が店頭販売することにより「環境循環型社会への取り組み」や、地球レベルの大問題である「CO2排出量削減とゴミ削減」なども実現することになる。

そのためにもヤマダ電機とジットは、今後とも回収ボックスの設置協力法人を広く募集する考えだ。詳細については右ページに記載の連絡先、または全国のヤマダ電機法人カウンターまで問い合わせさせてほしい。

1. 寄付金はJANICが運営する「NGOサポート募金」における「保健医療支援まとめて募金」と「環境保全まとめて募金」に寄付し同募金にて支援活動を行なうJANIC加盟NGO団体へ分配される。詳しくは、<http://www.janic.org/bokin/index.php> まで。
2. 交通遺児育成基金の詳細は、<http://www.kotsuji.or.jp> まで。



交通遺児育成基金・高島専務理事へ贈呈

### 主な回収ボックス設置協力企業一覧

福岡県立福岡豊学校（福岡県）北陸通信工業株式会社富山支店（富山県）北陸通信工業株式会社高岡営業所（富山県）北陸通信工業株式会社黒部営業所（富山県）富山県立新川みどり野高等学校（富山県）魚津市立東部中学校（富山県）富山県立魚津工業高等学校（富山県）黒部市立前沢保育所（富山県）社会福祉法人上田明照会（長野県）千曲市役所情報統計課（長野県）長野市立東条小学校（長野県）榑古賀坂スキー製作所（長野県）介護老人保健施設つかまの里（長野県）榑稲本製作所（石川県）博電社（新潟県）榑渡辺製作所（新潟県）榑ヒロタカデザイン事務所（新潟県）（株）丸薫（新潟県）田宮病院（新潟県）医療法人崇徳会（新潟県）ジーエス・コアサ新潟販売（株）（新潟県）はあとふる薬局女池店（新潟県）榑学力増進ゼミナール（新潟県）新潟県立高等養護学校手まりの里分校（新潟県）新潟大学情報工学科（新潟県）高田南城高等学校（新潟県）社会福祉法人 新潟県身体障害者団体連合会（新潟県）新和石油株式会社（新潟県）南国運輸株式会社（鹿児島県）読谷村立渡慶次小学校（沖縄県）宜野座村立松田小学校（沖縄県）沖縄警備保障（沖縄県）沖縄県立鏡が丘養護学校（沖縄県）他全79法人（2007年12月29日現在）

敬称略

# 使用済みインクカートリッジ 捨てればゴミ。 回収すれば、 子どもたちの未来の ために!!

ヤマダ電機グループとジットは共同で、世界の恵まれない子どもたちへの募金活動を開始します。  
ヤマダ電機店頭で回収した使用済みインクカートリッジ1個につき10円を、ヤマダ電機とジットがボランティア団体へ寄付します。ヤマダ電機の過去の回収実績は月平均10万個以上。この実績をお客様に積極的な回収協力をいただくことで2倍、3倍とアップ。1人でも多くの恵まれない子どもたちを支援していきます。

カートリッジ  
1個につき  
**10円**  
を寄付

## ヤマダ電機グループとジットの主な支援内容

1. 保健医療支援  
(JANIC「NGOサポート募金」)<sup>※1</sup>
2. 環境保全・環境教育支援  
(JANIC「NGOサポート募金」)<sup>※1</sup>
3. 交通遺児育成支援<sup>※2</sup>

<sup>※1</sup> 特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター (JANIC) の運営する「NGOサポート募金」における、「保健医療支援まとめて募金」/「環境保全・環境教育まとめて募金」に寄付します。寄付金は各支援活動を行う加盟NGO団体へ分配され、活動に役立てられます。詳しくは<http://www.janic.org/bokim/index.php>をご覧ください。

<sup>※2</sup> 財団法人 交通遺児育成基金へ寄付します。

## 使用済み インクカートリッジの 回収方法は 次の2つ。

— 1 —  
全国のヤマダ電機店頭に設置した「ジット回収ボックス」へカートリッジを直接投函してください。

— 2 —  
主旨にご賛同いただけるお客様には、回収ボックスを無償で送ります。ボックスには着払い伝票を添付しますので、カートリッジが一杯になり次第送り返してください。

《回収ボックスの問い合わせ先》  
ヤマダ電機:027-260-1617  
ジット:055-280-8105

## 使用済みカートリッジを 10個回収するだけで、

— 1 —  
約2錠のマラリアの薬を買うことができます  
(フィリピン)

— 2 —  
病院の子ども(1人)が1日3食の給食を食べることができます  
(カンボジア)

— 3 —  
約15本の木が植えられます  
(ネパール)

etc.

<sup>※</sup>募金活動状況はヤマダ電機のホームページ、法人会員誌「シャニム」等にて随時報告いたします。  
<sup>※</sup>募金対象使用済みインクカートリッジは、ジット規定リサイクル対象品となります。

〒400-0414 山梨県南アルプス市戸田371-7 TEL:055-280-8105 FAX:055-280-8103  
ジット製品のご案内、お取扱店ははこちらまで <http://www.jit-c.co.jp>